

令和6年度 第2回甲斐市総合計画審議会

日 時 令和6年6月24日（月）
午前10時00分～11時00分
場 所 本館3階大会議室
出席委員 16名／19名
欠席委員 波木井会長、留守委員
芦川委員

1 開会（事務局）

- ・市長から新任委員1名（清水委員）に委嘱状の交付を行った。
- ・欠席委員（波木井会長、芦川委員）
- ・会長欠席により穴水副会長が進行を行う旨報告。

2 第3次甲斐市総合計画基本構想（案）の諮問

- ・市長から穴水副会長に諮問を行った。

3 市長あいさつ

本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

本審議会は、総合計画及びその実施に関して必要な事項について調査、ご審議いただくため、設置している組織であり、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けて、委員の皆様の協力をお願いしております。

本日の審議会では、第3次甲斐市総合計画の総論部分の内容及び、先ほど皆様に諮問をさせていただいた基本構想案について、事務局より説明をさせていただきます。少子高齢化の急速な進行を踏まえた持続可能な社会の実現や、DXの推進、また脱炭素社会の実現など、社会情勢の変化や時代の潮流を的確に捉えた計画を策定し、1つ1つの課題解決に向けて取り組んでいくことで、甲斐市が益々発展できますよう、皆様方がこれまで積み上げてこられました知識、経験等を生かして忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

4 副会長あいさつ

先ほど事務局から連絡があったように波木井会長に代わり進行を務めさせていただきます。議事がスムーズに進行できるようご協力をお願いします。

■市長公務のため途中退席

5 案件

(1) 第3次甲斐市総合計画 第1編 総論（案）について事務局から説明

(委員)

人口減少対策について、子育て対策に取り組んでいることは承知しているが、従業員の中で未婚の人が増えているように感じている。未婚率の減少に向けた対策について意識して取り組んでほしい。市外の人と結婚して転出してしまうことも問題であると思うが、ぜひ検討いただきたい。

(事務局)

基本計画の中に組み入れていきたい。

(2) 第3次甲斐市総合計画 第2編 基本構想（案）について事務局から説明

(委員)

基本構想の中に市民との協働に関する文言が随所に入っているが、実効性をもって計画を進めるためには、市民の参画が欠かせないと思う。超高齢化社会で人口減少や少子化が進むなかで、人と人とのつながりの維持や孤立防止のためにも重要だと感じる。市民と一緒に取り組むということをもう少し表現してほしい。

(事務局)

市民との協働は重要であると認識している。いただいた意見を参考にしたい。

(委員)

前回の市長あいさつで、釜無川でオオキンケイギクが増えていて除草したという話があったが、全国的にも外来種の増加は問題になっている。環境省でも生物多様性に関する戦略が出され、山梨県でも地域戦略を今年の3月に公表している。国、県が戦略を策定し、次は市町村という流れにきている。2年ほど前の甲斐市環境基本計画策定の際も、甲斐市における生物多様性の地域戦略について検討してはどうかという意見が出ていた。これから10年先を見据えるのであれば、このような流れについても念頭において取り組んでほしい。

(事務局)

今回示した基本構想の5つの基本目標は変えない方向でいるが、今いただいたご意見は今後の政策・施策に反映していきたいと考えている。

(委員)

今回の審議会で答申するという話があったので心配していた。

(事務局)

本日はまず基本構想について諮問させていただいた。人口、将来像、基本目標を定めたところからこれを実現するための政策・施策を検討していくので、その内容については改めて審議会で検討いただく予定である。

(委員)

基本構想に記載されている人口シミュレーションに関する文章が細かすぎる。専門的な人が読めばわかると思うが、一般市民には難しい。もう少し読みやすい文章にならないか。

(事務局)

議会にも諮る資料であるため、今のところこの内容でいきたい。ご意見いただいた市民に分かりやすいという視点では、概要版において簡略化し、わかりやすい内容にさせていただきたい。

(委員)

人口シミュレーションについて、人口問題研究所の予測である62,000人と甲斐市の新たな目標である68,000人では6,000人の差があるが、都市計画の視点で見ると、目標に近い数値になると思う。5歳階級別人口や生存率、出生率を勘案して予測を立てるものであるが、甲斐市は若い人口も多く、建築着工件数も増加する予測であることから、妥当な数字であると思う。6,000人も違うと色々説明が必要だと思うが、これでよいと思う。

大切なことは、周辺の自治体の人口が減少する中で、甲斐市の人口が変わらないということは、甲斐市のポジションがあがっていくということ。甲斐市の価値があがっていくことを意識しながら人口問題は扱う必要があると思う。

(事務局)

甲斐市の合計特殊出生率は県内でも上位となっていることから、目標人口は確保できると考えている。甲府市に次ぐ人口の都市として、魅力あるまちづ

くりに取り組んでいきたい。

(副会長)

増加する要因について追加できないものか、一度検討していただきたい。

6 その他

(事務局)

- ・第3回審議会を7月22日(水)午後3時から開催予定。
- ・追加のご意見があれば、7月9日(火)までに事務局にご連絡いただきたい。

以上